

# 急性心筋梗塞

**Q1** どんな病気ですか？

心臓は血液を全身に送るポンプの働きをしています。しっかりと動くためには心臓の筋肉自身も十分な酸素や栄養を必要とします。心臓から大動脈を通して全身に血液を送り出した直後に右に1本、左に2本の「冠動脈」と呼ばれる血管が大動脈から枝分かれして心臓の表面を走行して心臓の筋肉に血液を送り届けます。この冠動脈の血管壁に血液中のLDLコレステロール(悪玉コレステロール)などがたまってプラークと呼ばれるこぶを作ります。このプラークが大きくなり冠動脈の内腔が狭くなり心臓の筋肉に血液が不足するのが「狭心症」です。プラークの被膜が破れてできた血栓により冠動脈の内腔を閉塞し、その部位より先の心筋が壊死してしまつのが「心筋梗塞」です。

**Q2** どのような症状ですか？

胸部の広い範囲で圧迫されるような、締め付けられるような痛みが15分以上持続し、安静にしていても改善しません。左肩から左腕や背中にも痛みを自覚することもあります。胸痛を自覚されずに下顎の疼痛を自覚されることもあり、時には歯科を受診されることもあります。また胸痛を自覚されずに肩、上肢、上腹部の痛みを自覚されることもあります。冷や汗を伴うことが多く、呼吸困難や吐き気を催すこともあります。こうした症状を自覚された際には急性心筋梗塞の可能性があるため、すぐに救急車を呼びましょう。ただし高齢の方や糖尿病があるとはつきりした症状を示さないことがあり注意が必要です。急性心筋梗塞を起こした人の半数は前触れなく突然これらの症状

**Q3** この心筋梗塞を治療するのはいつですか？

冠動脈が閉塞してから再開までの時間が長ければ長いほど多くの心筋が壊死するため、心臓のポンプの力の低下した心不全という後遺症を生じます。また心筋の壊死に伴い心室細動という危険な致死性不整脈による突然死が生じやすくなります。これを避けるために早急な治療が必要です。治療法としては薬物治療、カテーテル治療、バイパス手術があります。迅速に確

が関わり、運動療法、食事療法、生活指導、服薬指導などを行う包括的リハビリテーションです。心臓リハビリテーションは手術の直後から始め、退院後も長く続けるほど再発は減少し経過もよくなります。

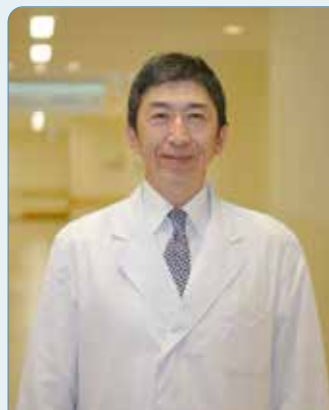
**Q4** 予防するには？

急性心筋梗塞を起こした人の半数は前触れがあります。従って軽い胸痛などの違和感があれば、かかりつけ医または循環器内科を受診して相談しましょう。糖尿病や脂質異常症、高血圧症、肥満、喫煙、運動不足は血液中にLDLコレステロール(悪玉コレステロール)を増やし冠動脈にプラークを作ります。ここに過度な疲労や睡眠不足、激務、ストレスなどが加わると冠動脈を傷つけて心筋梗塞を発症します。そのため塩分摂取を控えめにし、動物性脂肪を避けて魚を食べるようにし、ごはんの大盛を避けてミネラルを摂取し運動するように心がけましょう。そのうえで上手にストレスを分散しましょう。

実に再疎通させるために、現在ではカテーテル治療が主に行われます。カテーテルとは直径数ミリ程度の柔らかな管で、このカテーテルを用いた治療法をカテーテル治療と呼びます。これにはいくつかの方法があります。現在最も多く行われているのはスプリント治療です。スプリント治療とは、カテーテルを使用して狭窄または閉塞している冠動脈病変にスプリントと呼ばれる金属製の網状の筒を留置して血液の流れを改善させる治療法です。

早期に冠動脈血流を再開する治療を実施することは必要ですが、カテーテル治療が終了したら予後を改善するために数種類の薬剤の内服が必要となります。これには抗血小板薬、スタチンと呼ばれるコレステロール降下薬、β遮断薬、アンギオテンシン変換酵素阻害薬(ACE阻害薬)などがあり、これらの薬剤を退院後もきちんと服薬することが重要です。

また心筋梗塞の再発を防ぎ快適な生活を営むために欠かせないのが心臓リハビリテーションです。これは医師や看護師、理学療法士、栄養士などの多職種



今月の先生 岐阜市民病院 循環器内科  
**小塩 信介**

- 専門分野  
循環器内科、内科一般
- 役職  
救急診療局長  
循環器病センター長  
第一内科部長  
循環器内科部長
- 主な資格、認定  
日本心血管インターベンション治療学会認定医、専門医  
日本救急医学会専門医

- 卒業年、主な職歴  
平成元年岐阜大学医学部卒  
平成2年岐阜市民病院  
平成4年社会保険病院小倉記念病院循環器科  
平成6年岐阜市民病院第一内科  
平成13年豊橋ハートセンター循環器科部長  
平成13年医学博士取得  
平成16年岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センター講師  
平成20年岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センター准教授